

＜学校名＞ 草加市立両新田小学校
＜所在地＞ 草加市両新田西町55番地
＜電話＞ 048-927-8411
＜本事例の特徴＞

本校は、ALT と担任とで外国語・外国語活動の学習を通年行っている。今年度はカメルーン出身の ALT を迎えた。児童にとってなじみの薄い国であるという点や、サッカー好きの児童が多く在籍しているといったことから、授業やクラブ等で交流する機会を設けられればと思い取り組んだ。

＜具体的な取組や成果＞

○6年生の外国語の授業の中で、ALT によるカメルーンの文化や食べ物の紹介を行った。Google Earth を活用し、カメルーンの場所の確認をしたり、カメルーンの代表的な料理や、盛んなスポーツなどの紹介をしたりしてもらった。ALT の紹介を聞きながら、児童は日本と比べながら、似ているところ、違うところなどに気付き、興味を持って聞いていた。また、日本の有名なものを英語で紹介する学習では、ALT に向けてどんなことを伝えるか、どう伝えるかなどを考え、工夫して紹介することができた。



○児童の感想より

今日紹介してくれたカメルーンの料理「アチュ」がおいしそうだった。日本でいうと何の食べ物に似ているかなと考えました。

こんなに離れた国から来た人と勉強するなんて、すごいことだと改めて思いました。サッカーが好きというところはぼくといっしょでした。

質問をして、「たこ焼きが好き」と言っていたのがびっくりした。たこ焼きは外国の人にもおいしい食べ物なんだなと思いました。

○クラブ活動の時間には、サッカークラブの児童と一緒に活動を行った。パスやゲームを一緒に行う中で、スポーツを通じた交流ができ、児童がより ALT に親しみを持つことができた。